

進路だより

令和8年度 第2号
熊本県立黒石原支援学校 進路指導部



今回は、7月にPTAと職員合同研修として行った「進路研修」について報告します。

- 目的 ・地域の事業所の取組や卒業生の進路決定までの道のりを共有し進路に対して前向きな希望をもてるようにする
- ・学校と家庭で進路に関する情報や支援のあり方を共有し、子供一人ひとりの将来を一緒に支えていけるよう連携を強化する

- 内容【グループ1】障がい福祉サービスの利用について
- 【グループ2】在宅就労支援事業について（卒業生の事例を交えて）

- 講師【グループ1】株式会社はぐくみ 代表取締役 野村 順子 様
- 【グループ2】NPO法人在宅就労支援事業団 センター長 富山 哲 様
令和4年度卒業生保護者 住永 貴美子 様

○感想

- （保護者）在宅就労という新しい働き方について知ることができ、大変勉強になった。パソコンを活用した仕事だけでなく、一人一人の特性に合わせた支援や、大学企業と連携しながら就労支援を行っていることが分かり、子供の将来の選択肢が広がるな、と思った。
- （教職員）卒業後の福祉サービス事業所の利用に向け、情報を収集したり体験利用をしたりして早めに事業所とつながっておくことが大切だと感じた。
- （教職員）卒業した生徒の様子を知ることができた。在校生の指導・支援に生かしていきたい。



☆進路選択のために「さまざまな情報を得ること」「人とつながること」が大切なのだと改めて感じた研修でした！